

- 議長（滝内久生君） 質問順位 1 番、1 つ、スマートフォンの取り扱いについて、2 つ、新庁舎建設に関する事業について。

以上 2 件について、5 番 矢田部邦夫君。

〔 5 番 矢田部邦夫君登壇 〕

- 5 番（矢田部邦夫君） 皆さん、おはようございます。再興の会の矢田部邦夫です。一般質問の通告に従い質問をさせていただきます。

3 年ぶりに歴史ある黒船祭が 2 日間、何とか天候ももち、開催され、内外ともに発信できたことは大変喜ばしいことだったと思います。準備に後片づけに御苦労された職員並びに関係者の方々、参加、協力していただいた市民の皆様、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

さて、私も任期最後の 4 年目を迎えることになりました。この 3 年間、ようやく市政の流れ、財政の内容が、少しずつではありますが、それなりに分かりかけてきたこの頃です。私は後悔することはしたくないので、残る活動期間においても、市民への期待に応えるべく、信念を曲げることはないよう、当たり前のことを当たり前やることに努めてまいります。

昨年、11月19日の全員協議会に始まった市を左右する大きな事業、庁舎建設に関する事業、1 市 3 町広域ごみ処理事業、旧グランドホテル取得がこの 3 月に次々と予算計上され、可決した流れに対し、下田市の今後に大きな不安を抱いております。ここに来て、私は当局の短期間のあまりのスピードを上げた進め方、内容が伴っていないことに疑問を持っています。私の考えは揺るぎなく、現在も変わりません。

当局の執行に対し、議会は重要なチェック機関でありながら、今の議会は全く機能していないんじゃないかと私は感じております。十分な議論もなく、市民に説明することもなく、当局の思惑どおり進め、安易に決定されていくことに不安と憤りを持っています。市民あつての行政、議会ではないでしょうか。

これらの事業が予定どおり行われた場合、完成後の新庁舎、稲生沢中学校を利用した庁舎を含め、必ず下田市の財政に大きな負担になると思います。今日まで、私自身は皆さんの意見を参考にしながら、是々非々で意見を述べてきました。皆さん方から批判されても構いません。責任を持って、今後の下田市の在り方について忠告をさせていただきます。現時点ならまだ間に合うとも思っています。失敗は許されません。

事業を始める時点で、最初の入り口の取り組み方、その後の段取りが悪いために、無理があり、大きな無駄も発生し、無駄遣いにつながっていくことです。よって、財政面にも多大

な負担がかかり、現在も厳しい状況にあると思いますが、今後はより一層厳しさが増大することになると思っています。

市長として市民への説明責任が果たされていないため、市民の皆さんは不信感を持っています。いろいろな面での対応のまずさが目立っていると思います。私が思うところ、現在の下田市は適正な運営がされていない、末期状態ではないかと心配しております。これらの事業の進め方次第で、来年以降大変な事態、取り返しがつかないことになるのではないかと心配しております。それだけ私は危機感を持っております。

それでは、1つ、スマートフォンの取り扱いについて、2、新庁舎建設に関する事業についての質問をいたします。

1つ、スマートフォンの取り扱いについて、総務課長にお尋ねします。

市民からの要望がありましたのでお尋ねをします。この3月議会で予算計上された、高齢者65歳以上の方々が初めてスマートフォンを購入した場合の補助金1万円支給と、高齢者向けスマートフォン講座開催支援業務委託の内容についての具体的な説明をお願いいたします。

2、新庁舎建設に関する事業について。

市長が就任してから今日に至るまでの市政運営の内容、進め方に私が感じてきた見方、考え方を述べていきたいと思っています。下田市の最優先課題は、安全を確保するための新庁舎建設事業だったはずですが、今日まで迷走してきた原因はどこにあるのか。今後の下田市にとって大変重要なことなので、振り返ってみたいと思います。

くどくなりますが、私は、新庁舎建設事業、ほかの事業も含め、昨年11月19日の全員協議会の報告に始まり、当局の一方的で半ば強引とも感じるスピードを上げた進め方、取り組み方に対し、到底納得できるものでもなく、疑問を抱えたままであります。

ようやく当局は、5月12日、市民文化会館において、新庁舎建設事業について、約60名の参加者の下、説明会として開催しました。参加した市民の方の意見では、市のコンセプト、全体の基礎的な方針となっている考え方や発想がよく理解できないため、意見を述べるできないと言っておりました。私はもっともだと思っています。議会で議決する前に、市民に事業内容、概要、返済計画などの説明をするべきだったと思っています。

今回は説明会ではなく、大まかで内容に欠けた事後報告会で、正しい順序で行われていないと思いました。つまり、当局と議会だけで決めた後、当局は市民への説明会と称していますが、議決後であるため、報告会ではないでしょうか。

その段取りとして、議決前に市民へ知らせるため、広報しもだ、パブリックコメント、市

長と語る会などを通して十分な説明が必要だった。それがなかったことが大きな問題です。市民の意見が反映されていません。このような進め方が通ると、必ず市が傾く要因につながると思われます。新庁舎建設事業の、今日までの当局が進めてきた事業内容をしっかり市民の皆さん方に考えていただく機会にするための質問をしてみたいです。

財政課長にお尋ねします。

1、平成30年度決算に基づく委託料設計費 1 億1,521万1,700円と、平成31年度庁舎用地購入費として 1 億5,801万1,340円のうち、緊防債で借り入れた設計費8,240万円、土地購入費 1 億4,440万円は、3 年余り経過してますが、国からの交付税はどのようになっているのでしょうか。回答をお願いします。

企画課長にお尋ねします。

1、先行移転方針で提示された本改訂版事業費の総事業費（項目ごと含む）が分かりづらいことと、返済計画も議会、市民へ具体的に提示、説明がなかったと思いますので、回答をお願いします。

2、先行移転方針で提示された庁舎の入り口は、資料で示されてはあがあるが、どこを計画しているのかははっきり見えない。また、建物に対し道幅は何メートル必要なのか、回答をお願いします。

3 番目、5 月11日、新庁舎建設基本計画の改定についての説明がありましたが、突然、位置条例で決定している新庁舎建設場所ではなく、稲生沢中学校のグラウンドに変更されていました。なぜなのか、いきさつの説明をお願いします。

以上 3 点、企画課長、お願いします。

市長にお尋ねします。

1 つ、3 月定例会で議決後に第 1 回目の審議会が 4 月26日に開催されていますが、手順としてこれでよいのでしょうか。審議委員の方は疑問を持たなかったのでしょうか。なぜ議決前に審議会を開催しなかったのでしょうか。回答をお願いします。

2 つ目、令和 2 年に新型コロナウイルス感染拡大に伴う財政悪化と、稲生沢川の洪水浸水想定が発表され、新庁舎建設予定地が洪水浸水想定区域となったことを理由に延期したと述べておりますが、間違いはないでしょうか。回答をお願いします。

以上 2 点、それぞれの回答をお願いします。

以上で、私の趣旨質問を終わります。

○議長（滝内久生君） 当局の答弁を求めます。

市長。

- 市長（松木正一郎君） 皆さん、おはようございます。矢田部議員からの御質問のうち、私から、この庁舎問題についてお答え申し上げます。

まず、迷走してきたという今の御発言がございまして。確かに私までの以前の3人の市長において、場所がいろいろと変わってまいりました。しかしながら、私はこれを迷走という非難の言葉は当たらないのではないかというふうに考えます。それぞれの市長が、そのときそのとき、議会としっかりと議論を重ね、社会環境の変化に柔軟に対応してきたものと思います。

そして、私になったときどうしたかという、御承知のとおり、新型コロナウイルスが社会全般を覆って、どこの自治体でも大型プロジェクト、これを社会的混乱や財政面の影響等を考慮して一旦休止するといったところが多かったわけです。当然、下田市においても、先行きが見えない中、一旦停止をした。それはこの議会で御説明したとおりでございます。

とはいえ、私たちは、停止したからといって、思考も停止したわけではなく、稲生沢川の洪水想定への対応はどうあるべきか、都市計画ですとか、公共交通とか、あるいは、この場所が、庁舎が移転した後、まちづくりにどんな影響があるのかとか、様々な課題について総合的に検討してまいりました。そして、その検討の過程において、議会だけではなく、地元の皆様に対しても様々な説明の機会を設けまして、御理解を得てきて、現在に至っております。

今後もこのように適宜適切な皆様への情報の提供、それから検討の在り方等を当局としても改善に努めながら、このまましっかりと進めてまいります。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 総務課長。
- 総務課長（須田洋一君） 総務課でございます。私のほうからは、スマートフォンの取り扱いについて御答弁申し上げます。

現在、デジタル庁では、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化をスローガンに掲げ、一人一人が多様な幸せを実現するデジタル社会を目指した各種施策に取り組んでおります。本市、下田市といたしましても、世代間における情報格差の解消、高齢者のIT活用支援を目指し、今年度、スマートフォンの購入補助とスマートフォン講座の開催を予定しているところでございます。

スマートフォンの購入補助につきましては、初めてスマートフォンを購入する65歳以上の

市民に対し、1万円を上限に本体購入費の補助を行います。補助の条件といたしましては、スマートフォン講座の受講や下田市メール配信サービスの登録を要件に加える予定であり、購入後の活用に関する支援までをフォローしていきたいというふうに考えております。

高齢者向けのスマートフォン講座開催支援業務につきましては、シニア世代の初心者を対象とした講座の開催を予定しております。講座の受講をスマートフォン購入費補助の要件としておりますが、補助を希望する以外の受講も可能とするところです。

講座につきましては、基本編と応用編2種類の講座を用意しており、購入費補助の希望者には両方の講座を受けていただくことを要件にしたいというふうに考えております。また、これとは別に、来月にはスマートフォンの購入を検討されている方向けの講座も開催予定となっております。

補助金の申請に関しましては、現在、市内各店舗と細部の調整を行っており、夏頃から受付を開始したいというふうに考えております。

以上です。

- 議長（滝内久生君） 企画課長。
- 企画課長（鈴木浩之君） 企画課でございます。私のほうから、庁舎関係の質問について順次お答えをさせていただきます。

まず、2点目の基本計画改訂による総事業費と返済計画についてでございますが、総事業費につきましては、計画書改訂版と、あるいは市民説明会等の資料でもお示ししているとおり、設計等に係る委託費4億円、旧中学校改修を含めた工事費18億から22億円、現庁舎の対策費3億円、備品購入や引っ越し費用で3億円、合計28億から32億円を想定しております。この金額の幅につきましては、現在、設計が固まっていないこと、建築面積が固まっていないことによるものでございます。

この事業におきましては、緊急防災・減災事業債の活用を見込んでおりまして、充当率は対象事業費に対して100%、交付税措置率は70%を想定しております。

返済計画につきましては、現状でまだ設計等の事業内容、事業費が確定しておりませんので、概算の想定となりますが、先ほど申し上げた想定事業費に対しまして、借入額は約22億円程度、償還期間は20年間と見込んでおります。

3点目の新庁舎入り口につきましては、計画地西側の市道立野お吉ヶ淵線からの進入で、現在あります旧中学校校門付近を想定しております。通常、都市計画法上の開発行為が必要な場合、前回計画の場合は9メートル以上の道路との接道が必要となります。今回は開発

行為が不要という形で現在進めておりますので、建築基準法におきまして、4メートル以上の道路との接道ということで考えているところでございます。

4点目、稲生沢中学校のグラウンドの経緯でございますが、令和2年11月に新庁舎建設事業の延期を表明して以降、課題でありましたコスト抑制、浸水対策等の解決を図るために、中学校の活用を検討してきたところでございます。稲生沢中学校の耐力度調査にて校舎が利用できる見込みが立ち、学校用地も含め、庁舎建設地として一体として考えていく方針を令和3年11月の全員協議会において報告をさせていただきました。校舎を庁舎の一部として活用するに当たり、新築棟の位置につきましては、利便性などを考慮し、校舎と近接する位置としてグラウンドを選定したものでございます。

新庁舎等建設基本構想・基本計画審議会につきましては、基本計画における当局からの諮問に対し答申をいただく機関となっております。審議会につきましては、新庁舎建設の新築部分も含めた全体の計画について御審議をいただいているところでございます。

旧校舎改修設計業務委託料は、現庁舎の早期安全措置の一つである先行移転のために必要な経費であり、スケジュール的にも早期着手が必要であったことから、市の方針としまして、令和4年度当初予算に計上し、3月定例会において議決をいただいたところでございます。審議会におきましても、経過として説明をさせていただき、全体計画として御理解をいただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 財務課長。

○財務課長（日吉由起美君） 私のほうからは、平成30年度、令和元年度で既に借り入れた緊防債に対する交付税はどのようになっているかという御質問にお答えさせていただきます。

新庁舎建設事業に係る緊急防災・減災事業債についてですが、既に合わせて2億2,680万円の借入れを行ってございまして、その償還が始まっているところです。交付税につきましても、令和元年度より需要額に算入されているところでございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） ありがとうございます。再質問をいたしますけども、議長、ここからは一問一答でお願いいたします。

○議長（滝内久生君） どうぞ。

○5番（矢田部邦夫君） まず、総務課長に、提案ですけど、私なりの考えを述べさせていた

だきたいと思います。

このスマートフォンについては、3月の予算で1万円補助ということで決定しましたが、私は、金額もそうかもしれないですけども、大事なことは、65歳以上の人はスマートフォンを持っても操作が難しいということで、なかなか二の足を踏んでいる方もあると思うんですね。だから、私が思うには、デジタル化を市が進めているのであれば、職員の中でスマートフォンに非常にたけた方がいらっしゃるんじゃないかというふうに私は思います。

ですから、そういった方向で、市のほうで、月二、三回でもいいと思います。それは当局で検討していただければいいことですが、講座を開いていただきたい。初級、中級、上級とありますけども、いろいろ分からないで困っている人が結構あると思います。ぜひその分は、補助よりもむしろそっちのほうに重点を置いて検討していただけないでしょうか。これは回答要りません。提案です。

では、財政課長にお尋ねします。この私の質問は、もう3年たって、交付税がどのようになっているかということは、利息を払ってるという話でしたけども、毎回同じ質問ばかりしてごめんなさいね。分かりにくいので、質問しますけども、今回、建設位置が変更となっているわけですね。グラウンドに。前回借り入れた緊防債の中で、土地購入費の1億4,440万はどのような扱いになりますかということが1つ。

それから、新たな設計費は、前回の8,240万との関係性もお答え願います。

- 議長（滝内久生君） 財務課長。
- 財務課長（日吉由起美君） 既に借り入れました土地に対する1億4,440万円につきまして、現在も新庁舎の建設計画の中ではそちらを庁舎の駐車場等として活用するという計画になってございますので、そちらについては、そのまま、何ていうんでしょう、そのまま庁舎として使えるというふうに考えております。

それから、設計の部分につきましては、現在、基本構想、それから基本計画、実施設計というふうに今後進んでいきますので、その中で、前回の設計自体が、そのものが必要ないといえますか、使えないということになれば、当然、繰上償還も考えられるということでございます。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。
- 5番（矢田部邦夫君） ありがとうございます。要するに設計費は、設計会社がどこになるか、後から質問しますけども、多分この設計費の1億一千五百何万か、それは僕は無駄に

なるのではないのかなというふうに考えてます。

土地購入費は、これ場所変わるから、駐車場で使えるから、そちらのほうにシフトできるだろうというような話でしたけども、これは時間がたたないとはいっきり分からないですね、今のところ。だから、位置も変更されてるわけですから、当然この問題は大きな問題になってくると思います。下手をしたら市長の責任問題に流れていく可能性出てきますね。

それから、企画課長にお尋ねします。回答は、どうも内容がいまいち分かりづらいというふうに私は思ってます。私の質問内容で、この資料を出してますよね。市民の皆さんに。これいいものか、恐らく分からないと思いますよ。内容が。分かります。恐らく私は分からないだろうと。

この中で特に私が注視してるのは、4番目の建設用地と配置計画、それから5番の事業費、この問題が出てくると思うんですね。先ほど入り口のことについては、4メートルの幅があればいいという回答をいただいて、この審議会の議事録にもそれが載ってましたから、納得しましたけども、私が言うのは、議事録は30日の全員協議会で申し入れたと思います。私がね。なぜ議会当初に、初日にこれが出てくるのか。9日間あるんですよ、期間が。だったら一般質問の中で、ちゃんと調べてから、読んでから質問できるような体制になっていないで、今朝ここでやったって無理ですよ。それが1つ。

それから、この問題について触れたいと思います。総事業費、これは、僕は概算というのは分かるけど、本当に概算ですよ。なぜならば、じゃあ位置を変更するわけでしょう。位置を変更したら、それだけにまた事業費かかるんじゃないですか。私が言うのは。

それと、中学校の体育館を解体するわけでしょう。そうしたら当然、その費用もかかってくる。これから増えるじゃないですか、金額が。だから、これは、僕は事業費というのはこの中で、一つ僕気になっているところあって、新庁舎工事費、旧中学校改修などを含む18から22億という数字を出してるんですよ。最初は中学校の改修工事費を5億8,000万ということ言ってたんだけど、その説明がないということですね。だから、これは市民に、この5月の、いつだっけ。12日のこの日ですね。文化会館で説明会した内容では話しておりません。だから、こういう大事な話が抜けてるというのを、僕はそこを気にしてるんですよ。市民の方に正しい計画、それがなされていない。

それからもう一つは、この中の返済計画ですね。全く話にならないと思います、僕は。この内容は。この中で、28億から32億の総事業費、今現在、ロシアによるウクライナ侵攻で材料が高騰してます。2年たてば分からないというような答弁も聞いたことがあります。とん

でもない話です。今の時点で考えて、計画していかないとまずいと私は思うんですよね。その辺はどうでしょうか。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） まず1点目、議事録の関係でございます。こちらにつきましては、当然ながら、ぎりぎりまで審議会も開催をしておる中で、議事録の調製に時間が必要ということで、本日となってしまいました。できる限り早くするべきだったという御意見については受け止めて、今後対応させていただきたいと思います。

事業費の件でございますけども、位置の変更、あるいは内容の変更によりまして、幾つか前回計画と変更になってくるところがございますが、今回お示しをしている事業費につきましては、そうした体育館ですとか、現庁舎への対応ですとか、改修、こうしたものを全て想定できるものは想定した中での数字の算出ということになっておりますので、改めてここから、例えば体育館についてとか、現庁舎の解体とか、そういったところが新規ということで増えるということがないように、項目としては含めて想定をした中で算定をさせていただいておるものでございます。

それから、返済計画につきましては、返済計画というか事業費につきましては、前回、全協の際にもお話をさせていただきましたが、当然、今、資材費を含めて円高、もろもろの価格の変化というのは大きくなっているというところは承知をしております。ただ、そうしたものを2年後とか、そうしたところまで正確に読み取ることができない中で、ある程度の幅、ある程度の想定を持った中で、事業としては進めていかざるを得ないというところがございます。当然、今後もその時々、できる限りの資料に基づきまして検討を行いまして、御相談をさせていただくということになろうかというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） 今の話ですと、私が思うのは、何でどんどん話が進んでって、後づけみたいな形で、後出しで出てくるんですか。最初やるべきと思いますよ、僕は。こういう計画については。課長、そうだと思います、私は。後からもう一回検討し直すとか、こういうケースが物すごく多いんですよ。今までの流れの中で。ここは問題があるというの、僕は。後づけで出てくる。その場で、例えば位置条例の問題にしても、これは、たしか11日かな、5月の11日の日に基本計画の話があったときに突然出てきた話ですよ。位置条例を変えろというのは、今回2,700万の予算が計上されてますけども、これ、いいですか、こういう形で。

課長、お願いします。

- 議長（滝内久生君） 企画課長。
 - 企画課長（鈴木浩之君） 位置条例につきましては、昨年の9月に期間の延長という形で御提案をさせていただきまして、延長をさせていただいたところでございますが、現状あります46番、河内の46 - 1については、その議会の中にも代表地番ということで御説明をさせていただいております。今回、その代表地番も含めた形で、現在、庁舎の計画のほうを行っております。最終的に今回、少し計画地が変わってきております。設計についても、今後、配置計画等の決定をしていく中で、最終的に、庁舎のへそといいますか、中心がしっかり固まったときに、改めて位置条例については御相談させていただくということで考えております。
- 以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。
- 5番（矢田部邦夫君） 今の話は失望しますね。なぜというなら、位置条例は昨年、4年に更新したじゃないですか。議会で話もなく、突然この話を出してくるって、位置条例との関係性を考えたときに、僕は、言葉の表現は悪いかもしれないけど、私、なめられてるような気がするんだよね。議員が。とんでもない話だと思いますよ。その辺はどうなんですか。教えてください。

- 議長（滝内久生君） 企画課長。
- 企画課長（鈴木浩之君） 基本的に市の大きな流れとしましては、昨年の議会の中で、従来の河内において新庁舎を建てる、それについては5年の延長の中で新庁舎を建てるということで御提案をさせていただいたところでございます。その中で、改めてコストの関係ですとか、洪水対応を含む安全性の問題、そして、土地利用を含む、都市計画等を含むまちづくりの問題、こうした中で、河内という位置を基本としながら、設計について変更を行ったということで考えておりますので、大きな市の流れとしては変更があったということではなく、設計等細かい部分で、細かいという言い方は、すみません。設計等の内容の変更はあったということで考えております。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。
- 5番（矢田部邦夫君） 課長ね、段取りが悪いですよ。手順が違ってると思いますよ、僕は。だから、もう話しても平行線だけでも、当局は当局の考え方で言います。我々議員というのはチェック機関ですから。いいですか。一方的に出してきて、もう決まったことでどんどん

出してきてるじゃないですか。意見交換会、何が意見交換会なんだかということですよ、僕は。1日だけ意見言って、全然話通らないじゃないですか。その辺のことも僕は非常におかしいと思ってます。

それから、先ほど2,700万の、今月予算が計上されてますけども、これおかしい話じゃないですかね。議会を通してなくて、いきなり出してくるんです。こういう形で。前回もそうだったけど、2,000万の設計費用も。その辺は、課長、私よく分からないので回答してもらえませんか。

- 議長（滝内久生君） 企画課長。
- 企画課長（鈴木浩之君） 市としましては、今回、基本計画という形で、改訂版ということで配布をさせていただきました。その計画に沿いまして、市としては、これ国の予算の話になりますけども、次の手順として、設計に入りたいということで、予算の計上をさせていただいて、審議をお願いするというものでございますので、市としましては、市の基本的な基本計画、市の方針に沿って、一つ一つ予算等の御審議をお願いするという形で考えております。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。
- 5番（矢田部邦夫君） 私が言ってる質問と、どうも具体的な回答が違うような気がします。まああとは市民の方が判断されるんじゃないでしょうか。

それから、5月30日の行政報告で、これですね。こんなような5月30日。この中で、説明会などとして5月23日に稲生沢地区3区の説明をしてるんですね。これは河内区から4名、蓮台寺区から3名、立野区から3名、これ区長をはじめ役員の方が集まったと思うんですけども、それから、5月の30日の日に上大沢地区で、やはり区長をはじめ、ほかの役員で8名ぐらい。それから、6月3日の夜7時から集荷場でね、下大沢の地区の。ここも区長をはじめ役員の方が約10名ぐらい、説明会をしております。間違いありませんよね。

これね、何で、いいですか。僕は今この説明をしてるんですよ。この資料で。そのときに、参加した市民の方から、何を言っても駄目だと。決まったことを押しつけてきてると。じゃあ何だろうな、この会合はというふうな意見が出てます。現実には。そこを課長、回答してください。

- 議長（滝内久生君） 質問者にお尋ねいたします。ここで休憩したいと思いますますが、よろしいでしょうか。

- 5 番（矢田部邦夫君） 結構です。
- 議長（滝内久生君） 11時15分まで休憩します。

午前11時 0 分休憩

午前11時15分再開

- 議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を続けます。

当局の答弁を求めます。

企画課長。

- 企画課長（鈴木浩之君） すみません、答弁の前に、ちょっと 1 点訂正をお願いしたいと思います。

先ほどの私の答弁の中で、ウクライナ情勢による円高という、すみません、ちょっと発言をしたところでございますけども、ウクライナ情勢による価格等の高騰と、全世界的に進んでいる円安ですね、によるということで、ちょっと円高と円安を間違えてしまいましたので、そちらについて訂正をさせていただきたいと思います。申し訳ございません。

それでは、稲生沢地区の説明会につきましては、当局としましては、市民説明会や全体的な説明会に加えまして、建設地となる地元の皆様に、地元としての懸念材料ですとか、心配事とか、御要望等をお伺いしたいということで、稲生沢地区に入らせていただいたところでございます。本来は 1 回で済めばよかったところですけども、日程の関係で、3 区と大沢地区 2 回ということで、分散をしてしまった形となっております。

市の説明会としましては、あくまで市の方針を持って地区に説明に伺いまして、御意見、御要望等を伺って、その後の計画、今回の場合は今後設計とか、そうしたものの作業の中に生かしていくということで、説明会のほうを開催していただいたところでございます。そういう中で、全くない状態でお話を伺うという形も開催の方法としては計画等ございましたけども、今回につきましては、市のほうで方針を持って地元のほうに入らせていただいたという形で進めさせていただいております。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5 番 矢田部邦夫君。
- 5 番（矢田部邦夫君） 今の話ですと、私が言うのは、結局これを、同じことやってるんですよ。文化会館でやったことと。もう決まったことで話してるわけですよ。市民がそう言っ

てますから。私が意見言ってもどうにもならないわというふうなことを言われたんですから、僕は。

だから、僕が言うのは、この企画が稲生沢地区だけで行われた意味がよく分からない。庁舎建設は、この内容の説明会であればですよ、稲生沢地区だけで開いた意味が分からない。庁舎建設は下田市全体の問題じゃないんですか。そこは、この計画を考えた方は誰ですか。実施しようとしたのは。教えてください。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） 今回の稲生沢地区の説明会につきましては、今、議員もお手元にお持ちの市民全体に向けて実施をした説明会の資料に加えまして、実際に建設予定地の図面等を皆さんの前でお示しをしながら、進入路の関係ですとか、水路の関係ですとか、御懸念としていただいていた事柄を一つ一つ図面等に落としながら詳細に説明をさせていただいたところでございますので、それにつきましては、当局としては地元向けということで開催をした内容となっていると考えております。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） これはね、説明会じゃないです。報告会です。いいですか。結果が出た後のことですから、文化会館でやったのも同じなんですよ。事後報告なんですよ。決まったことでやってるわけですから。これいくら話しても回答できないと思いますよ、僕は。

それとね、もう一つ、今、誰が企画したのかと聞いたけども、はっきり聞き取れないので、もう一回教えてほしいということと、それから、この総事業費ね、28から32、これ先ほどちょっとある方から聞いたら、ある議員の方から聞いたら、ロシアのウクライナ侵攻で30%以上高騰してる。だから、そういったことで社会情勢も随分変わってるわけですよ。とてもじゃないけどこの金額じゃ収まらないですよ。私が言うのは。

だからね、しっかりとした計画、費用出してください。体育館を解体する費用、それから、位置を変えたらそれなりにまたお金かかるわけじゃないですか。そうでしょう。それに対する費用。今度、設計費、結局ね、ここの総事業費、僕はそこを物すごい懸念してます。緊防債で22億って書いてあるけども、これ全部緊防債でなくて、この中の7割ぐらいが最終的に交付税出るでしょうけども、そういう考えで、解釈でいいですか。

それともう一つは、設計会社はどこを考えていますか。教えてください。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

- 企画課長（鈴木浩之君） 今回の基本計画の改訂版、これを企画したのは誰かというお話でございますが、当然、これにつきましては下田市でございます。担当課としては、企画課のほうで事務局を務めた中で、庁内の検討を進め、市として決定をしていくということで考えております。

価格のお話でしたが、今回お示しをしている改訂版の事業費につきましては、中学校を使用する、体育館等を解体する等、説明をしている内容を積み上げた形での事業費ということになっておりますので、基本計画に想定している内容については、事業費として含まれているということで御理解いただきたいというふうに思います。

それから、設計の会社ということでございますが、当然ながら、今後、今回補正予算でお願いをして、予算議決をいただいた後、業者については決定をしていくという流れになりますので、今後また必要な手続を取って、業者の選定をしていきたいと考えております。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。
- 5番（矢田部邦夫君） あのね、この事業費の問題については、もともとの位置条例で決定されてる場所、これ簡単に動かすわけにはいかないだろうなと僕は思ったものですから、条例で決定しているわけですから。あそこの位置条例の場所と、今度、グラウンドの高低差、段差がどのくらいある。1.5メートルって言ってるじゃないですか。どうするんですかと。地質調査から何からまたお金がかかりますよ。そういうこと。

それから、とてもじゃないけど、僕は、この金額じゃ収まらない、同じようなことを繰り返すんじゃないのかなというふうに懸念してます。心配してます。いろいろ大変な思いして基本計画を作成されたでしょうけども、この基本計画の改訂版についても、これ5月11日に出されて、いわゆる話が出てきたと思いますけども、今度、今日またさらに改訂したのが出てくる。これね、後手後手じゃないでしょうかね。何も検討する余地がないですよ、我々が。

私はね、ちょっと話したいと思いますけど、以前の国道からの入り口ね、あれは借地ですというような話を僕は聞いた覚えがあるんですよ。入り口を、当時。当時ですよ。当時、2年前。前任者の場合。それがいつの間にか入れない、駄目だという話になっちゃってるけど、その辺については、前回の話ですから、僕、今、課長が担当してたんじゃないですから、これは前任の課長ですからね。この件についてはもう少し僕、調査してみます。何だか変なんですよ、いろんなことが。

それと、私が思うのは、だから、今話したように、今考えるとね、前回の計画で、今考え

るとですよ、前回の計画で建設できたのかなと私は思っているんです。随分遠回りして、無駄遣いにつながってきていると思っています。今までに一般質問などを通し述べてきたとおり、延期したことにより、やらなくてよい事業だったのに、やらざるを得ない事業になってきている。それは、現庁舎の耐震補強工事と調査費含む約2,247万、稲生沢中学校の改修工事と調査費含む約6億円、これが、新庁舎建設を行うのだから、その工事費にかけてほしかったと今でも思っています、私は。市役所の新庁舎は1棟でいいという考え方、いまだに私変わってません。

それともう一つ、1万6,550平米の広大な土地を、人口減少が進んでいるときに、下田市は管理するんですか。そこを教えてください。

- 議長（滝内久生君） 企画課長。
- 企画課長（鈴木浩之君） 今回の改訂版でお示しをしてますとおり、前回の計画地、それから今回、中学校を活用した改修棟、そして同じグラウンド内に新築棟ということで考えております。現状におきまして、現状のグラウンドの南側については、具体的なまだ計画はない状態でございます。こちらにつきましては、市として貴重な財産ということになりますので、今後様々な活用方法について検討していきたいということで考えておりますが、現時点、庁舎計画との同時という形では、今のところまだ用途が決まっている状態ではございません。

以上でございます。

- 議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。
- 5番（矢田部邦夫君） 今までさんざん僕、意見言ってきたんです。言ってることは一貫して変わりません。だから、新棟1棟でいいという考えは前から考えてるんですけども、それは述べてきてると思います。でも、これだけの広い土地を、人口がどんどん減って、2万人を切る状況の中で、1万6,550平米、どうして管理するんですかって。こんな必要ないと思います、僕は。

それともう一つ、最後に、課長に今質問した中でまとめとして、令和2年の11月に新庁舎建設事業の延期を決定するまでに、それなりに下田市の状況などを勘案し、検討された上で、今回の庁舎に関する事業を進める方向にかじを切られたと思いますが、私の思いは、判断が非常に甘かったのではないかと感じております。事業は現在検討している方向で当局が進められると思います。厳しい状況になると危惧しています。

この基本計画にも私は問題点があると思ってるんですね。この中のものが入ってるわけですから。基本計画にも無理がありますし、総事業費の問題とか、先ほどから話してきました

けれども、位置の問題とか、いろいろ金かかってきますので、こういうことを考えると、非常に厳しい状況になると危惧しています、私は。基本計画には無理があるということを言いましたけども、私が先ほど壇上で申し上げた口述書のとりの内容です。もう一度読み返していただきたい。議会終わってからで結構ですから。

それから、市長にお尋ねします。市長は先ほど、ちょっとお尋ねします。3月の定例会の18日の最終日に予算が可決しました。2,000万のね。その後、第1回目の審議会が開催されています。予算可決する前に審議会を発足し、検討するのが本来の進め方だと私は思っているんですよね。私は本末転倒だと思っているんですよ。先ほど審議会のことについてあまり触れてなかったようですから、回答をお願いします。

市長ですよ、市長。市長に質問してるんですから、市長が回答してください。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） 一旦私のほうから経過をもう一回確認させていただきます。

今回、審議会につきましては、当初予算の議決とスケジュール的にずれているのではないかとこのところの御質問でございます。これにつきましては、市の方針としましては、昨年から一貫して御説明しているとおり、中学校の改修棟と新築棟という形で進めたいという基本的な方針の中で進めてきているところでございます。

こちらにつきましては、今回も基本計画については新しい計画をつくるということではなく、基本的な方針の中の改訂版ということで進めてきたところでございます。そうした中で、今回、スケジュール的にどうしても厳しさもある中で、中学校の改修については、市の基本的な方針の中で先行して予算の御提案をさせていただき、御審議をいただき、議決をいただいたところでございます。

こちらにつきましては、前の3月の議会でもお話をしたとおり、全ての具体的な事務の執行につきましては、計画がまとまった段階で進めていくということで御説明をしておりますので、今回、計画がまとまりました。こちらにつきましては、順次事務に着手していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） あのね、審議会の開催日程は行政報告で受けてますから、その説明要りません。私が言ってるのは、何で議会で決める後で審議会発足して、第1回目を4月26日に始めたのかということです。

でね、過去の話、僕言いますけど、ちょっと聞いているだけでいいです。これね、平成26年の12月16日に第1回目が、審議会が敷根民有地のときに開催されております。この中で、審議委員が10名いたんですよ。その中の1人が審議会の中で、場所がまずいと。市民の方からそういう申入れがたくさん来てるので、そこを審議してほしいという申入れをしたら、いいですか。委員長が、その話には触れないでくださいという話で、流されちゃったんですよ。その審議委員の方は辞職してるんですよ。非常にこの人は人格しっかりしてる人です。私の考えもしっかり持ってる方ですので、見てて。自分の意見が通らないとして辞職して、後任が決まってるんですよ。これ見てください。

こういうふうな流れがある審議会が、今回この新聞で見ると、答申内容が、附帯意見では市民や議会の十分な説明ということが載ってるわけですよ。こんな状態で何で妥当なんですか。審議委員の方も。出来レースじゃないですか。これじゃあね、僕が一番心配してる財政の問題に絡んでいくと思いますよ、いろんな面で。僕はそこを下田市のことを心配して言ってるんですよ。私のためじゃないんです。市民のことも考えて、財政の面でかなりの負担がかかってくるということです。増大してきますから。それについては、市長、回答してください。

○議長（滝内久生君） 市長。

○市長（松木正一郎君） 私どもの検討は大きく分けると4段階ぐらいがあります。4つの範疇それぞれを申し上げますと、庁内、つまり下田市という行政当局における検討、庁内で横断的に様々な観点から計画をつくり上げるという検討、それから、皆様方、議会にお出しして議論をいただくという、そういった場所、それから、第三者である審議会、こういったところで専門家や、あるいは市民意見といったものも代表として取り入れる、そしてもう一つが、一般市民向けに説明会をやると。こういった4つぐらいがあろうかと思います。

それらについて、私どもとしては順を追ってやってきたつもりなんですけども、残念ながら、矢田部議員は審議会を出来レースと。議会はなめていると。こういうふうな厳しい、誹謗する言葉が今、大変あるんですが、当然、審議会の参加して下さった方々は、別に出来レースをするつもりで入ったわけではなく、きちんと皆さんの意見を述べてくれています。

それから、議会でも皆さん、矢田部議員だけでなく、ほかの方からも厳しい意見もあれば、いや、むしろこれがいいという意見もある。それを、みんなで意見を出し合って議論を重ねて、そして決めて、前へ進むというのが社会だと思います。これは記録されていますので、ぜひそういった品格のある議論、そして建設的な、健全な批判精神に基づく建設的な議論に

なるようお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） この審議会の議事録とパブリックコメントの内容については、30日の全員協議会で提出してほしいと言ったら、今日これが、審議会の議事録が出てまいりました。私はこの中で、使いやすいということも載ってるんですよ。果たしてこの分庁の形で使いやすいのかどうか。

これは、熱海の市役所は3つに分かれています。4つか。福祉事務所がありますから、左側に向かって。それから、元文化会館のところ2庁舎、3庁舎になって、利用されてるんですけども、熱海のほうへ私出向いていろいろ話聞いてきました。市民が使いにくいというふうなことを言っているし、あんな近くにあってもそういうことなんです。

だから、この審議会の内容を見て、これで妥当なのかどうなのか。僕は不思議でならないんだよね。出来レースとか、これ私の考えですから。市長、さっきから言ってるけど、私の思いで言ってるわけですから。私を批判するならしてもらって結構ですと言ってるわけですから、口述書で。私はそう思ってますから。

だからね、こういうふうな審議会制度でいいのかどうかということ。本末転倒だと思いますよ、私は。そこを回答してないじゃないですか。先に審議会やって、予算で決めていく、その手順だと思いますよ。正当なやり方は。

それとね、もう一つ、浸水深2.2メートル、これイエスかノーで答えてくださいよ。内容は要りませんから。要するにこういう理由で延期したというふうなことで、市長、いいですかということ。イエスかノーでいいです。余計な説明は要りません。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

〔発言する者あり〕

○議長（滝内久生君） 不規則な発言はやめてください。

○企画課長（鈴木浩之君） 2.2メートルにつきましては、静岡県が発表した稲生沢川の洪水想定ということで出された数字でございます。当然ながら、2.2メートルという数字のみではなく、そうした洪水を含む様々な災害に対する想定を改めて考え直すというところで、令和2年11月の決断となったというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○ 5 番（矢田部邦夫君） 不規則な発言じゃなくて、求めてるとおりやっていたかないわけですから。

○ 議長（滝内久生君） 5 番議員に申し上げます。議会における発言は議長の許可をもって発言してください。議長に対して許可を、発言の許可を得てませんので、不規則な発言と申し上げます。

○ 5 番（矢田部邦夫君） じゃあ今度、手を挙げてやりますよ。

あのね、ちょっとおかしいですよ、みんな。いや、おかしいでしょう。この流れが、見て僕、ちょっと不思議でならないもん。だから、とにかくね、僕の口述書もう一回読んでみてください。そのとおりですから。

それともう一つは、私が言うのは、正しい手順で事前説明、私が思うところですよ。思いつき、行き当たりばったり。ちょっと違うような気がするんだよね。大沢地区の稲生沢地区だけをやったというのは、いろんな意見を聞いてと言うけど、そうじゃなかったみたいですから、僕が話してるんですよ。だから、何だか押しつけみたいに見られてしまうというふうな傾向があります。

この浸水深2.2メートルのことについて答え出ませんけども、これは、私は延期したというのが非常に大きな問題であって、この間、私が今から申し上げます。令和2年の7月に就任されたんですよね、市長は。延期したのはいいんですよ。私が言ってるのは、延期したならしたで。ただ、中学校の改修費用を提示したのは令和3年6月なんですよ。予算で。7か月間あるわけですよ。その間何もしてこなかったというのが、ここに来てばたばたばたするということに問題があったんじゃないかと。

私が言うのは、グランドホテルのときにも言いました。あれもやっぱり4月に管財人の方から申入れがあって、11月の全協に出すまでの7か月間、市長は何を手を打ったんですかと聞いたことがありますよね。県に何で行かなかったんですかって、自ら、応援に来てもらうために。同じことですよ。それについて回答お願いします。

○ 議長（滝内久生君） 企画課長。

○ 企画課長（鈴木浩之君） 延期の表明以降、表面立って様々な説明会ですとかは、そうしたものが会議では開催されたというところは、表面立ったスケジュールとしては出ていないところでございますけども、当然ながら、その間、庁内におきましては、先ほど申し上げたとおり、洪水の関係、まちづくりの関係、コストの関係、そうしたものについて様々な資料を分析をしたり、専門家の皆さんの意見を伺ったりということで、内部的な様々な動きを行っ

てきているところがございます。決して何もしなかったという期間というふうなことでございませので、御理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） 私どもにね、それが見えないということですよ。見えてこない。一生懸命やってるのは分かりますけども、表立って出てこない。

この理由については、ちょっと僕申し上げますけども、浸水深2.2メートルというのは、国の発表があったんですよね。それによって、浸水深2.2メートルで、もしあそこが氾濫したら、下田市は恐らく壊滅状態になると思いますよ。だから、僕は理由にならないんじゃないかと。

もう一つは、コロナの財政問題。何でグランドホテルにシフトしたんですか、この間。今は流れが変わってきてますけども、100万円で取得するという話がある。このコロナの財政問題というのは、国からの補助金がほとんど出てるんですよ。下田市の財政から、一般財源から出た額というのは恐らく4,700万ぐらいじゃないですか。2年間にわたって。だから、そういうのは僕は違うと思うんだね、理由としてね。結局ここまで混乱をした大きな要因はそこにあったんじゃないかということを私は指摘しているんです。

時間がまだあると思いますけども、この基本計画についていろいろ話したいと思いますが、これ誰が最終的に、もう一回同じこと聞きますけど、検討して、作成されたんですか。課長。課長でもいいですよ、答え。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） 基本計画の改訂版につきましては、庁内での検討、そして様々な専門家等の皆さんからの意見聴取、そして市民の皆さんはじめ、説明会等での意見、パブコメ、審議会等を経て、市の中で決定をしたというところでございます。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

○5番（矢田部邦夫君） もう話してもあまり、なかなか的を得た回答がもらえないので、平行線が続いてますが、最終的にはこれ、市の責任者というのは市長ですよ。最高責任は。課長とか職員は、言われたことをやって、指示されたとおりやると思いますけども、いろんな意見は言うけども、最後に僕、そのことは入れてありますから。締めにもその話をします。責任者は松木市長ですよ。下田市の。

だから、これはね、いろいろ言われるのは仕方がないと思いますよ。立場上。それが駄目だったら考えなきゃいかんですよね。だから、課長とか職員って人たちは言われてやる。自分の考えでぼんぼん出してくるということは、僕はまずないんだろうと。その話を市長が目を通して、じゃあいこうというゴーサインを出すのが普通だと思います。管理職の仕事ですよ。当たり前のこと。

最後に、終わりに、5月12日の市民文化会館において新庁舎建設事業についての説明会、私は、先ほどから言ってるように、報告会と受け止めています。の最後の市長の言葉の中で、市役所の人たちの優秀さ、私が考えたプランではない、文句だけは言うと言話をされていましたが、勘違いをされていないでしょうか。市長。これはね、職員、市長をはじめ、私たち議員も報酬を頂いているわけです。頂いている以上はプロなんですよ。お金を稼いでいるわけですから。やって当たり前だと思いますよ。市長の言う言葉では、僕はないと思います。勘違いだと思います。これは市民の方々が判定することだと思います。

また、昨年12月からユーチューブで下田市議会と検索すれば、議員による一般質問並びに下田市の情報も視聴できるようになっています。市民の皆さんもぜひ御視聴いただきたいと、今まで議会でそういう話がなかったので、あえて私は申し上げさせていただきました。

その中で、令和2年の市長選で8,808票の獲得し、後のインタビューで、今回の勝因は何といっても市民の力ですと市長言ってるんですよ。市民の人たちがこの下田市を変えようという運動になった。それが大きな風を起こしたと述べていました。市長は下田市の責任者として説明責任を果たさなければならない立場であると思います。

○議長（滝内久生君） 残り5分です。

○5番（矢田部邦夫君） その責任を果たせないのは、私は不適格ではないかなと私は思ってるんです。私は。正しいことを正しく行い、実行させることは、当たり前のことですよ。市民への事後報告会ではなく、しっかりとした事前説明会をすること、市民をないがしろにしない、風通しのよい下田市にしていっていただきたいというのが私の考えです。何か回答がありましたらしていただいて結構です。

〔「動議」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） どういう動議でしょう。

○1番（江田邦明君） 発言の訂正を願います。

○議長（滝内久生君） どの部分ですか。内容は。

○1番（江田邦明君） ただいま矢田部議員の発言の中に、議会として一般質問に関するユ-

チューブの配信を行っていることを公表している状況がなかったからという発言がございましたが、下田市議会としては、6月議会だよりにおいて、ユーチューブの一般質問に関する配信をしている旨を議会だよりで広報しておりますので、その部分について発言の訂正を求めたいと思います。

- 議長（滝内久生君） 賛成者はいますか。

〔「賛成」と呼ぶ者あり〕

- 議長（滝内久生君） 動議は成立しました。

暫時休憩します。

午前11時45分休憩

午前11時48分再開

- 議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

ここで議会運営委員会を開催いたしますので、委員の方は第1委員会室にお集まりください。暫時休憩します。

午前11時48分休憩

午前11時54分再開

- 議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

一般質問の途中ですが、ここで午後1時まで休憩します。

午前11時54分休憩

午後1時0分再開

- 議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

お諮りいたします。

矢田部邦夫君から、一般質問での発言について、会議規則第64条の規定により、「市民の皆さんもぜひ御視聴いただきたいと、今まで議会でそういう話がなかったので、あえて私は申し上げさせていただきました。」の部分で、「市民の皆さんもぜひ御視聴いただきたいと、今まで議場でそういう話がなかったので、あえて私は申し上げさせていただきました。」に訂正したい旨の申出がありました。この訂正申出を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（滝内久生君） 御異議はないものと認めます。

よって、矢田部邦夫君からの発言の訂正申出を許可することに決定いたしました。

ここで矢田部邦夫君より発言を求められておりますので、これを許可いたします。

○議長（滝内久生君） 5 番 矢田部邦夫君。

○5 番（矢田部邦夫君） 今、議長のほうから報告がありましたとおり、一般質問中の「市民の皆さんもぜひ御視聴いただきたいと、今まで議会でそういう話がなかったので、あえて私は申し上げさせていただきました。」を、「市民の皆さんもぜひ御視聴いただきたいと、今まで」、「議会」を「議場」と変更します。「そういう話がなかったので、あえて私は申し上げさせていただきました。」と。

以上です。

○議長（滝内久生君） 一般質問を続けます。

5 番 矢田部邦夫君。

○5 番（矢田部邦夫君） 先ほど企画課長から答弁がありましたけど、設計の会社ね、どこへ頼むかという話があったときに、これから検討しますという話で回答があったと思います。課長、それでよろしいでしょうか。回答。間違ったら言ってください。その後でまた話がありますので。いいですか、それで。

じゃあ引き続きちょっと話をさせていただきますが、設計と施工と監理、これを一括してやっていただく会社にすれば、非常に低価格で済むのではないかというふうに私は考えております。近隣のことでと、メディカルセンターが19億でできてるんですね。完成します。だから、その辺をひとつ参考にしていただければ大変ありがたいと思いますが、できるだけ事業費を削減するために検討してみてください。よろしくお願いします。

○議長（滝内久生君） 答弁求めますか。

○5 番（矢田部邦夫君） あれば、課長、お願いします。

○議長（滝内久生君） 企画課長。

○企画課長（鈴木浩之君） 設計も含めまして、コストをなるべく安く、なおかつ機能を満たした施設ということで目指していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（滝内久生君） 5 番 矢田部邦夫君。

○5 番（矢田部邦夫君） ありがとうございます。以上で私、終わります。

○議長（滝内久生君） これをもって、5 番 矢田部邦夫君の一般質問を終わります。